

コロナワクチン接種

登録のみで、接種の予約ではありません。後日、接種日をご案内します

59歳以下で基礎疾患がある方の登録受付します

町民対象

高齢者を対象にしたワクチン接種(2回目)が7月中に終了する見通しとなったため、59歳以下で下記の基礎疾患に当てはまり、通院している方又は基準を満たす肥満の方の登録受付を開始します。該当される方で接種を希望される場合は電話で申し出をお願いいたします。

※今回は登録の受付のみです。予約ではございません。

●登録開始 **6月15日(火)** から **9時~17時**

6月16日以降も登録は
できます

専用電話 **47-2270** (平日のみ)

★お電話の際、ご自身が通院をしている基礎疾患について、右の表の該当番号(①~⑮)をオペレーターにお伝え下さい。

【基準(BMI30以上)の計算例】

計算式 BMI = 体重kg ÷ 身長m ÷ 身長m

●身長150cm、体重約68kgの方の例

68kg ÷ 1.5m ÷ 1.5m = 30.2 ⇒ 該当

●身長160cm、体重70kgの方の例

70kg ÷ 1.6m ÷ 1.6m = 27.3 ⇒ 非該当

身長はmを元に換算し
計算してください。

接種についてはウラ面に掲載しておりますので、ご確認下さい。

基礎疾患を有する方の範囲

以下の病気や状態の方で、通院している方等

- ①慢性の呼吸器の病気
- ②慢性の心臓病(高血圧を含む。)
- ③慢性の腎臓病
- ④慢性の肝臓病(肝硬変等)
- ⑤インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- ⑥血液の病気(鉄欠乏性貧血除く)
- ⑦免疫の機能が低下する病気
- ⑧ステロイドなど、免疫の機能が低下する治療を受けている
- ⑨免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- ⑩神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)
- ⑪染色体異常
- ⑫重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)
- ⑬睡眠時無呼吸症候群
- ⑭重い精神疾患(精神疾患のため、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療(精神通院医療)で「重度かつ継続」に該当する場合)や知的障害(療育手帳を所持している場合)
- ⑮基準(BMI30以上)を満たす肥満の方

BMIはボディマス指数と呼ばれ、体重と身長から算出される肥満度を表す国際的な体格指数です。(WHOでは30以上が肥満)

●接種の予約確定について

6月18日(金)までに登録を受付した方の中から接種日の7月3日(土)・10日(土)の2日間のどちらかに年齢が高い順に接種予約をさせていただきますが、登録状況により、7月3日・10日にご案内できない場合や6月21日以降に登録受付した方については、後日、改めて接種日をご連絡いたします。

なお、国から供給されるワクチン数の状況により、ご案内及び接種日が遅れる場合もあります。

●接種日 7月3日(土)・7月10日(土)

今回の接種は高齢者用ワクチンの残数で実施されますので上記の接種日にご案内出来ない場合があります、ご案内出来なかった方へは、国から供給されるワクチンの状況により、順次接種日のご案内をいたします。

●接種会場 新冠町保健センター

●接種券は予約確定した方へ郵送いたします

接種券については、7月3日・10日に接種の予約が完了した方へのみ予約完了のお知らせと併せて郵送いたします。

接種当日に必要なもの

- ① コロナワクチン接種券
(シールは剥がさず、そのままお持ち下さい)
- ② 予診票(記入してからお持ち下さい)
- ③ 保険証や運転免許証などの身分証明書

厚生労働省がまとめたコロナワクチン 副反応疑い報告(5月16日現在)

ワクチン接種は、体内に異物を投与し免疫反応を誘導し、感染症に対する免疫を付与することを目的として行われるため、効果とともに、副反応が生じる事もあります。副反応は2回目の接種の方が強いと言われています。

副反応の報告では計7,297件のうち6,047件が女性で全体の82.8%となり、年齢ごとでは多い順に40~49歳が2,063件、30~39歳が1,724件、20歳~29歳が1,491件で、若い方を中心に副反応が報告されております。

副反応はどなたでも起こる可能性があり、働き盛りの若い方に多く出る傾向から、会社や職場の皆さんのご理解ご協力が必要となります。

●報告されている副反応の症状等(報告数が多いものを掲載)●

悪心(おしん)・嘔吐	気持ちが悪くて、吐きそうな感じや吐く事があります。
接種部疼痛	接種部が痛む場合もあります。医学用語で痛みをとうつうと表します。
倦怠感	身体や精神的に「だるい」「疲れた」「疲れやすい」と感じられる事があります。
発熱	2回目の接種後37.5℃以上の発熱は、20歳台では約50%、50歳代は約30%、70歳代では約30%報告されています。
アナフィラキシー反応	薬や食物が身体に入ってから、短時間で起こるアレルギー反応です。皮膚症状、消化器症状、呼吸器症状が急に起こり、血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合もありますが、薬の注射などで治療します。
関節痛	関節が痛む事もあります。
筋肉痛	肩等の筋肉に痛みが出る事もあります。
動悸	心臓の拍動が自覚される症状です。
頭痛	頭部に痛みが生じる事もあります。
浮動性めまい	めまいで頭がふらつく(ふわふわする)症状が出る事もあります。
そう痒(よう)症	発疹がないにもかかわらず、かゆみが生じる場合もあります。
発疹	見た目ではわかる皮膚に現れる場合もあります。